

令和3年8月3日

沖縄県議会

議長 赤嶺 昇 殿

一般社団法人沖縄県ホテル協会

会長 平良 朝 敬



沖縄県における「緊急共同メッセージ」への早期対応方について(要請)

平素は本県の観光産業へ格別なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対しては、本県においても感染拡大防止のための措置が断続的に行われているところであり、4月12日から5月31日までの50日間にわたる「まんえん防止等重点措置」、それに続く5月23日から2度の期間延長を踏まえた8月31日までの101日間の「緊急事態措置」の実施により、合計151日間もの長期にわたり、ホテルをはじめとする本県観光業界はかつてない厳しい状況に置かれております。

そのうえでの今回の沖縄県による「海外のロックダウン相当」との認識による緊急共同メッセージ発出は、こうした危機的な状態に置かれている観光産業を更に圧迫し、特に繁忙期に期待できる売り上げの大きな落ち込みにつながることから、経営に壊滅的な打撃を及ぼす恐れがあります。また、本来、「ロックダウン」は補償と一体となって考慮されるべきものであり、今回のようなロックダウン相当の宣言が何の補償もなく実施されることは到底納得できるものではありません。

もちろん、本県を来訪される観光客及びその受け入れを行う県民の安全・安心の確保が大前提となることから、県による空港における水際対策の強化や、官民一体となったワクチン接種の促進など、感染の拡大防止に向けた取り組みを加速化することは急務であり、ホテル側においても厳重なる感染拡大防止策の実施等により、本県を訪れる観光客の皆様が沖縄観光を心から楽しんで頂くための取り組みを継続しているところであります。

以上のことをご賢察頂き、沖縄観光の速やかな回復による県経済の早期回復につながるため、現在実行されております本県の「沖縄県緊急共同メッセージ」の速やかな解除に向け、県及び関係機関へ早急に働きかけをして頂きますよう要請申し上げます。